

1. 短期展望 ブッシュ政権第二期の アメリカ経済 (p. 1)

- ・米ドル安は、更に進行する。アメリカの双子の赤字が原因である。
- ・2005年前半は1ドル=90円台後半(95円~100円未満)が定着する可能性大。
- ・ドル安によって双子の赤字が調整された後、米経済はサイド成長軌道に乗り、ブッシュ政権二期目終了時(2009年1月)には、双子の赤字の対GDP比率は現状以下になろう。

2. 展望① ブッシュ政権二期目の外交課題 (p. 4)

ブッシュ政権第二期目の外交課題は「テロ戦争を敢行しつつ“新世界秩序”をつくりあげる」ことにある。具体的には以下の6点が挙げられる。イラク統治の成功、②パレスチナ紛争の処理、③対テロ戦争の推進、④北朝鮮とイランの核武装阻止、⑤世界的な米軍の再編を完成させる、⑥中東問題の処理が成功すれば、中共との対立姿勢は明確になる。

3. 展望② 「不安定の弧」とは イスラエルの事である (p.8)

Arc of Instability (アーク・オブ・インスタビリティ) とは、イスラム教地域が不安定であるために、「イスラエル自体が不安な箱舟と化している」という暗黙の意味を含んでいる。これはイスラエル支持の為の、多義的なシンボリズムを内包した用語であり、政治的暗号である。

4. 展望③ 国内情勢 (p.9)

・現在、我が国には国・地方合わせて一千兆円を超える債務総額がある。この為、財務省は、外圧を借りて国内の抵抗を抑えつつ、日本の個人金融資産の残高1,425兆円を国家に吸い上げることで負債を相殺するという財政再建のシナリオを考えている。

・皇室の世代交代の進行と共に、我が国政治・経済のあり方も表裏とも大きく変わろうとしている。それに伴い、一見関連性のない悲喜こもごもの事象が発生しながら、国全体の一種の禊ぎが行われつつある。

5. 展望④ ブッシュ再選後の米露関係 (p.13)

・ロシアのプーチン大統領は、ブッシュ再選を待って、イラクへのロシア製兵器の供給とイラク兵の武器使用訓練を開始する。

・ウクライナ大統領選の混乱の背後にはジョージ・ソロスの「Open Society」の関連団体と米ネオコン派の暗躍がある。

TEL 03-3650-1475 FAX 03-3650-7873